

# 翔

若、日に  
汝の思想と培え

若、日に  
汝の体軀と養え

若、日に  
汝の智徳と磨け

若、日に  
汝の希望と望まれ

松岡 静岡

---

## 第9号

(発行)  
平成26年12月17日(水)  
東海大学付属翔洋高等学校同窓会

### ご挨拶

東海大学付属翔洋高等学校 同窓会会長  
有田 知弘



本年6月の同窓会総会において承認を受け、林芳久仁会長に代わり、会長に就任致しました有田知弘と申します。誠に若輩者であり力不足は重々承知しておりますが、精一杯頑張らせて頂きます。

私は東海大学第一高校28期生（昭和51年4月入学〜54年3月卒業）です。当時の第一高校はスポーツ部の黄金期であり、数多くの運動部が全国大会で活躍しておりました。私も前年秋の東海大会を勝ち抜き、春の選抜大会出場を決めた野球部に憧れ入学させて頂きました。春に引き続き、夏の甲子園にも連れて行つて頂いた先輩方には今でも感謝しております。

在学中、多くの先輩方・先生方に育てられ楽しい高校生活を過ごしております。そして、その頃から教員という職業に憧れ

を持つようになり、大学4年時には母校にて教育実習をお願い致しました。実習中は担当の先生に鍛えられ、生徒達に励まされ、益々教員への思いは強くなりました。その後、夢叶い東海大学第一中学校にて社会科の教員となり、芥川校長の下、充実した日々を過ごすことが出来ました。

現翔洋高校野球部監督の弓桁先生とは第一中学校野球部の監督・部長（コーチ兼）として毎日生徒達と共に汗を流しておりました（その甲斐があり、全国大会にも出場出来、大変良い思い出となっております）。家業を継ぐという理由で第一中学校を退職し暫らくは学園とも疎遠になりましたが、高校野球OB会のお手伝いをするようになり、学校やグラウンドに顔を出す機会が増えました。

今回、同窓会会長のお話を頂いたのは前校長の高橋信由先生です。高校時代の恩師であり、教員時代の同僚として大変お世話になった方からお声を掛けて頂き光栄であるとともに、責任を強く感じております。卒業生皆様のお力を借りて何とか頑張っていこうと思っております。

しかしながら、前会長の林芳久仁様から現状をお伺いしたところ、残念ながら同窓

会活動に参加して下さる卒業生が少なく、十分な活動が出来ていないようです。今後、何としても活動を活性化すべく30代までの若い同窓生の皆さん（特に翔洋になつてからの方々）に参加してもらおうと呼び掛けPRに力を入れるとともに、活動の魅力作り心掛け、学校と協力して同窓会活動をスケールアップしていきたいと考えております。活動費（維持費）へのご協力も引き続き賜りますようお願い致します。

### 変わる！ 静岡翔洋

校長 村上 英治



同窓会誌「翔」第9号発刊おめでとうございます。同窓生の皆様におかれましては社会の様々な分野でご活躍され、また、本校の教育活動につきまして日ごろよりご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、東海大学付属翔洋高等学校、東海大学付属翔洋高等学校中等部は2015年度より、校名を変更し東海大学付属静岡翔洋高等学校、東海大学付属静岡翔洋高等学校中等部という名で新たにスタートいたします。

これは、ただ校名を変更するのではなく2014年4月からの本校のメッセージ「変わる！翔洋 2つの約束、3つの宣言」を受けてのものです。つまり、校名も学校の教育内容も新たに生まれ変わるといふことを意味しています。

- 「2つの約束」というのは、
1. スクールバス全路線無料・入学一時金6万円減額
  2. 学校完全週6日制の実施
- 「3つの宣言」というのは
1. 翔洋は大学進学のための学校です
  2. 翔洋の部活動は「全国大会」出場を目指します
  3. 翔洋の生徒は挨拶、礼儀、身だしなみ、美しい環境を大切にします
- というものです。

そしてこれらのことを実現するために、次の2コースがあります。

英数進学コース・東海大学の医学部や医療・看護系、難関学部、人文学部、国立大や有名私大を目指すコース

文理進学コース・東海大学へ推薦で進学を目指すコース

以上の具体的な方針を掲げて、日々教職員は新たな学校づくりに汗を流しています。静岡は東海大学発祥の地です。その静岡という地名を入れることによつて、もう一度建学の原点に立ち戻り、新たな学校をスタートさせたいと思っております。

より地域に根ざし、より地域に愛され、より地域から発信する学校へと変貌を遂げたいそんな決意と願いがこの「静岡翔洋」という校名に込められています。

東海大学付属第一高等学校、東海大学付属工業高等学校の素晴らしき伝統を受け継ぎ、さらなる飛躍と発展を目指してゆきたいと思っております。学校は卒業生が財産です。どうか皆さんの力強いご支援を頂戴できれば幸いです。

皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

部活動報告

陸上競技部

第64回静岡県中部高等学校  
陸上競技対校選手権大会  
5月9日(金)から11日(日)  
草薙陸上競技場  
学校得点 男子総合 2位  
トラック 2位  
フィールド 1位  
女子総合 2位  
トラック 1位  
フィールド 2位

準々決勝 ○8-2 常葉橘  
第96回全国高等学校野球選手権  
静岡大会  
2回戦 ○4-3 富士市立  
3回戦 ○7-5 葦山  
4回戦 ○不戦勝  
準々決勝 ○3-13 日大三島  
第67回秋季東海地区高等学校  
野球中部地区大会  
決勝 ○0-10 静岡

柔道部

第66回静岡県高等学校  
陸上競技対校選手権大会  
5月30日(金)から6月1日(日)  
エコパスタジアム  
28種目39名県大会出場

静岡県高校総体  
5月17日 静岡県武道館  
男子個人戦 優勝 山田 知輝(3年)  
準優勝 荒井 大成(2年)  
塚本 瑠羽(2年)  
佐々木健友(2年)

男子

400mH 大野 紘 3位  
54秒88  
走幅跳 矢島慎太郎 5位  
6m93  
八種競技 杉村 稜 2位  
48秒65  
5位

女子個人戦 優勝 安竹真利奈(1年)  
準優勝 遠田 真子(3年)  
松井 絵史(3年)  
5月24日 静岡県武道館  
男子団体戦 優勝 岡村・横山・山田・佐々木・塚本・石岡  
女子団体戦 三位 遠田・松井・外山・安竹

女子

400mH 大野 紘  
走幅跳 矢島慎太郎  
7m15  
八種競技 杉村 稜  
決勝進出

女子個人戦 準優勝 遠田・松井・外山・安竹  
男子個人戦 準優勝 山田 知輝(3年)  
女子個人戦 三位 安竹真利奈(1年)  
遠田 真子(3年)  
全国高校総体  
8月2-6日  
成田市中台運動公園体育館  
男子団体 二回戦敗退 岡村・横山・山田・佐々木・塚本・石岡  
男子個人戦 三位 山田 知輝(3年)

男子

4x100mR  
杉山 藤浪 藤浪 鈴木  
準決勝進出

女子個人戦 準優勝 遠田・松井・外山・安竹  
男子個人戦 準優勝 山田 知輝(3年)  
女子個人戦 三位 安竹真利奈(1年)  
遠田 真子(3年)  
全国高校総体  
8月2-6日  
成田市中台運動公園体育館  
男子団体 二回戦敗退 岡村・横山・山田・佐々木・塚本・石岡  
男子個人戦 三位 山田 知輝(3年)

女子

第61回春季東海地区高等学校  
野球静岡県大会  
2回戦 ○11-7 富士市立

女子個人戦 準優勝 遠田・松井・外山・安竹  
男子個人戦 準優勝 山田 知輝(3年)  
女子個人戦 三位 安竹真利奈(1年)  
遠田 真子(3年)  
全国高校総体  
8月2-6日  
成田市中台運動公園体育館  
男子団体 二回戦敗退 岡村・横山・山田・佐々木・塚本・石岡  
男子個人戦 三位 山田 知輝(3年)

剣道部

静岡県高校総体  
5月31日、6月1日  
静岡県武道館にて  
男子個人戦 金澤拓斗(3年) 3位  
男子団体戦 予選リーグ1位  
決勝トーナメント1回戦敗退  
能口杏介(3年) / 正岡 礼(2年)  
金澤拓斗(3年) / 渡邊拓朗(1年)  
森 捷馬(3年) / 石川雄也(2年)  
雨宮颯馬(1年)

卓球部

女子個人形 女子個人戦  
坂下くるみ(3年) 二次予選進出  
静岡県高校総体中部大会  
ダブルスの部 4月26日  
静岡県武道館  
シングルの部 5月3日  
県営草薙体育館  
学校対抗の部 5月4日  
県営草薙体育館  
予選敗退

男子バレーボール部

第62回静岡県高等学校総合体育大会  
バレーボール競技 中部地区予選  
5月10日(土)  
順位戦 東海大翔洋2-0 静岡学園  
県代表決定戦 東海大翔洋2-0 榛原  
第62回静岡県高等学校総合体育大会  
バレーボール競技 静岡県大会  
5月31日(土)  
1回戦 東海大翔洋0-2 御殿場南  
(中部11位) (東部1位)  
静岡県ベスト32  
静岡県私立高等学校  
バレーボール大会 静岡県予選  
7月28日(月)  
1次リーグ 東海大翔洋0-2 島田樟誠  
東海大翔洋2-0 知徳  
東海大翔洋2-0 常葉菊川  
決勝トーナメント 東海大翔洋0-2 日大三島  
夏季静岡市民バレーボール大会  
高校男子の部  
8月6日(水)  
1次リーグ 東海大翔洋0-2 静岡大成  
東海大翔洋2-0 駿河総合  
東海大翔洋2-0 常葉橘  
東海大翔洋2-0 静岡西  
※翌日が学園オリピックのため  
1次リーグのみ参加(リーグ第2位)

空手道部

静岡県高校総体  
静岡県武道館にて  
男子団体組手 鷺野大晴(3年) / 小田拓夢(3年)  
水越海稀(3年)  
男子個人組手 鷺野大晴(3年) 3回戦進出  
小田拓夢(3年) 1回戦敗退  
水越海稀(3年) 2回戦進出  
男子個人形 山下景秀(3年) 第3位  
石井稔大(2年) 二次予選進出

ラグビー部

静岡高校総体  
5月11日(日) 1回戦  
清水南グラウンド  
本校 12対8 常葉橘  
5月18日(日) 準決勝  
遠州灘海浜公園  
本校 50対12 浜松工業  
6月1日(日) 決勝  
愛鷹運動公園  
本校 14対36 静岡聖光学院  
準優勝  
東海高校総体  
6月21日(土) Bブロック1回戦  
名古屋瑞穂公園ラグビー場  
本校 14対53 名古屋(愛知2位)  
6月22日(日) Bブロック3位決定戦  
名古屋瑞穂公園ラグビー場  
本校 38対21 各務原(岐阜2位)  
Bブロック3位

チアリーダー部

全国高等学校ダンスドリル  
選手権大会2014  
8月2-3日 大阪市中央体育館  
ソングリーダー部門スモール編成 1位  
ショートフラッグ部門 3位

部活動紹介

男子サッカー部

インターハイを終えて

主将 畑 裕喜

今年の夏、三年生にとつて高校最後の総体が行われました。気持ちとは裏腹に地区大会の初戦で負けてしまい、敗者復活戦で勝ち何とか中部九位で県大会に挑むことになりました。チームの危機的状況の中で、みんなで話し合い、「自分たちは決して強くない。だからみんなでチャレンジャー精神を持って一戦一戦すべてを出そう」と決め、県大会に挑みました。



二回戦、優勝候補の浜松開誠館戦で勝つことが、チームに勢いをもたらした。勝利という実感が強

くなってきました。

決勝を含めて厳しい試合の連続でしたが、みんなの気持ちが一つになり、優勝し全国大会に出場することができました。又、日常生活面を重視するオフザピッチの面でも自主的に生活面に気を配ってきたことが力になったと感じました。これからもチーム一丸となり、東海の名を全国に轟かせていきたいと思えます。サッカー部への応援よろしく願います。

男子柔道部

次へのスタート

柔道部主将 岡村 康平

私たち柔道部は、今年の夏インター・ハイに6年ぶり12回目の出場を果たしました。この舞台に立つまで、色々な苦難があり、本当に厳しい状況下での戦いとなりましたが、「常に自分達は挑戦者なんだ」という気持ちを忘れず試合に臨みました。そして、北田先生をはじめとする多くの先生方やOB・保護者の方々、そして苦楽を共にしてきた仲間たち全員が一丸となり勝利することになりました。結果が県大会優勝、そしてインター・ハイ出場に繋がったんだと思います。そして、インター・ハイの舞台で戦い全国のレベルの

高さを実感することができたので、悔しい思いもしましたが、それらの経験が次に繋がると思うので、本当に良い経験となりました。

私たちが三年生のインター・ハイの挑戦は、終わってしまいました。が、来年、再来年も次の世代の後輩たちが、日本一を目指して戦い「翔洋」を全国へと広められるようチーム一丸となって日々の練習に励んでいきたいと思えます。

全国大会で三位になって

山田 知輝

私は、静岡県大会では、絶対に優勝するという気持ちでいき、一戦一戦全力でいき優勝できました。

全国大会では、高校最後の全国大会ということなので、精一杯力を出して出し切ったという気持ちでいきました。結果は、3位という成績を残せました。私は、高校最後の大会が全国3位という結果を出せて本当に嬉しかったです。



進路状況

本校の進路指導は東海大学学園の一貫教育システムを活かし、東海大学への推薦入学80%以上を目指すとともに、国立大学や私立他大学への進学、留学、専門学校への進学や就職など、生徒一人ひとりの希望や適性に合った進路指導とサポートを行なっています。

二〇一三年度卒業生の進路状況は  
大学進学84%（東海大学71%）、就職（74%）、専門学校（55%）、その他（23%）でした。

在籍 256名

・総合進学コース 233名  
・特別進学コース 23名

◆東海大学付属推薦 182名 71.1%  
（ ）内の数字は人数

- （東海大学）  
文学部（38）、観光学部（4）、政治経済学部（9）、経営学部（1）、法学部（10）、教養学部（3）、国際文学部（1）、理学部（5）、情報理工学部（2）、情報通信学部（5）、工学部（24）、基盤工学部（2）、海洋学部（32）、農学部（2）、体育学部（12）、医学部（1）、健康科学部（2）

（東海大学短期大学部（静岡））（25）

（東海大学医療技術短期大学）（1）

（ハワイ東インターナショナルカレッジ（HTC））（3）

◆他大学 35名 13.7%  
（ ）内の数字は人数

- 静岡大学、静岡県立大学、横浜市立大学、埼玉大学、富山大学、防衛大学校、明治大学、早稲田大学、南山大学、横浜薬科大学、日本大学、東洋大学、専修大学、東海大学「一般」（2）、神奈川大学、昭和大学、愛知淑徳大学、愛知学院大学、山梨学院大学、洗足学園音楽大学、帝京平成大学、神奈川歯科大学、武蔵野大学、共立女子大学、常葉大学、杉野服飾大学、四日市大学、道都大学（2）、桜美林大学、大阪経済大学、創価女子短期大学、帝京大学短期大学部、大連外国語大学

◆専門学校 14名 5.5%  
（ ）内の数字は人数

- 日本工学院専門学校、中央工学校、トライデント医療看護専門学校、富士リハビリテーション専門学校、辻製菓専門学校、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校、静岡工科大学、大原法律専門学校、大原ホテル・トラベルエアリゾート専門学校、大原簿記・情報・医療専門学校、中央医療健康大学校（2）、早稲田美容専門学校、JA静岡厚生連するが看護専門学校

◆就職 19名 7.4%

- 松島電気商会、興津螺旋、伸栄工業、(株)増田製作所、サンリツ工業(株)、はちや、(株)トップ、小泉建設、飛鳥板金工業、中国木材(株)、社会福祉法人サンライフ、自衛官、静岡県警察本部、社会福祉法人富士厚生会、佐工建設、交通指導員、(株)宮城建設

◆進学準備 4名 1.6%

◆就職準備 2名 0.8%

# 学校行事

四月

新入生オリエンテーション  
高校・中等部合同入学式  
交通教室



学園基礎学力定着度試験  
防災訓練Ⅰ  
一年 遠足

五月

建学の地美化運動



生徒総会  
三年 付属推薦「小論文」試験  
前期中間試験

六月

教育実習  
体育祭



公開授業①  
薬学講座  
教養講座(三年)  
一年 湘南校舎見学  
二年 研修旅行  
・オーストラリア  
・沖縄  
三年 遠足

七月

前期期末試験  
運動部壮行会



高校野球応援  
特進山中湖学習合宿  
学オリ夏季セミナー(婦恋)

八月

学オリスポーツ大会(湘南)  
校内講習  
翔洋高校オープンキャンパス

防災訓練Ⅱ



一年 現代文明論公開授業①  
前期終業式  
六六 六km踏破

十月

PTA校内環境整備活動  
演劇教室「ねずみの涙」



後期中間試験①  
建学記念式典・弁論大会

九月



十一月

建学祭・バザー  
三年 学園高大連携総合試験  
吹奏楽定期演奏会(清水テルサ)  
公開授業②  
バンドフェスティバル

十二月

二年特進 ハワイ語学研修  
ヨーロッパ研修旅行  
ドリームサイエンス

一月



大学入試センター試験  
一年 現代文明論公開授業②

二月

高校入学試験  
後期期末試験  
三送会

三月



同窓会クラブ表彰・入会式  
卒業式  
修了式・離任式

## 恩師のたより

「児童・生徒と共に学ぶ喜び」

三浦八重子



(中学生いけ花教室)

同窓会の皆さま、諸先生方、こんにちは。会報を通じてご挨拶ができますことを大変嬉しく思います。私は昭和四十六年に東海大学第一高校に赴任して平成二十一年に退職するまでの三十八年間、皆さまに育てられ支えられて参りました。今、感謝の念でいっぱいです。思い起こせば赴任当時学校は、二・三年生の女子生徒は各十名で、一年生は十クラス・女子が四十名を超えるというので、家庭科担当として採用になりました。家庭科の他に「書道」、次の年には「体育」が加わって、体育の先生方の手取り足取りの指導を受けての授業でした。

教えられずともやれたのは、中高生時に部活動で鍛えたソフトボール位でした。マラソン大会で生徒と共に海岸を走ったことや、「学園の祭典」（園児から学生までが一堂に集う静岡地会のスポーツの祭典）では、創作ダンスを指導して一緒に踊ったことがなつかしく思い出されます。

平成六年より家庭科が男女共修となり、被服製作や調理実習に熱心に取り組み男子生徒の姿に勇気づけられたものです。平成十一年に翔洋高校が創立した時は、工業・一高からの在校生と翔洋入学生それぞれのカリキュラムが異なる為、家庭科は六名の教員で切り盛りしておりました。すべてが大変な状況でしたが、希望に満ち、皆が心一つにして学校づくりに励んだ時代だったと思います。

退職前は時間に縛られない自由な生活に憧れていたものの、いざその時がやって来ると素直に喜べないものがありました。幸い、茶華道部の指導を継続することになり、中等部からも女子生徒の「教養講座」のお話を聞いて、長く学んで来た茶・華道を生かす機会を得ました。

付属小学校が折戸の地に移転してから「みち」と称する伝統文化を通してマナーや道徳を学ぶ授業に出ています。高校の茶室や華道室を使つての授業は児童にとつて新鮮な様子で、目を輝かせて学習に取り組んでくれます。保護者の授業参観や東海短大生の授業見学の時は、私にとつても刺激の時間です。保護者から声をかけられ振り向くと、東海一高の卒業生であることも度々で、嬉しい限りです。子供達は熱心な先生方に育まれ、素直に明るく成長しています。そのまま翔洋中等部、そして翔

洋高校に進み、存分に学べる真の一貫教育がこの東海大学建学の地に確立して花咲くことを強く望んでおります。私は小・中・高校と敷地内を慌ただしく移動していますが、成長段階の異なる児童・生徒と共に学ぶ場を持つことに喜びを感じています。子供達から元気を戴き、皆さんの活躍ぶりを身近に拝見でき、行事の輪に加われる幸せを今、かみ締めています。今までに受けた多くのご恩に対して、どのようなかたちでお返しするのが良いのか模索中ですが、「やはり教育の現場が妥当かなあ」と考えている昨今です。

こうしている間に時は流れ、東日本の震災から早、三年半が過ぎました。近頃災害や事故で一度に多くの人が亡くなっていますが、情報が次々と流れるせいか、国民がまるで多くの犠牲者の数に慣れてしまつたがごとく、軽く見過ごしているように感じています。又、その時は悲惨に感じても、時間の経過と共に忘れがちになつていくようにも思われます。一人の人間の命の重さを強く認識する必要性と災害を忘れないことが大事に思います。

私の郷里の福島においては、避難先から帰れない人達がまだまだ多く、子供達の健康も深刻な問題です。震災発生時には全国から暖かな支援を戴き、有り難く思いました。あの時の他人に対して自然に向けられた慈愛の心を他の所でも表現できれば、世の中は良くなり世界平和に繋がるのではないのでしょうか。

何事もない平凡な生活が幸せに感じられる今日ですが、困難の先には明るい景色、一番良いことが待っていることを信じて生きてゆきたいと思えます。

## 卒業生のたより

「通学の学び」

フリーカメラマン 望月やすこ



東海一高時代、思えば色々乗り物を使って高校に通学していました。家から静岡駅までは自

転車に乗り、静岡駅からは東海道線で清水駅に行き、そこからは三保行きの路線バス。時間に余裕があれば静鉄電車に乗ったり、スクールバスで通つた事もありました。

自宅から1時間半。往復で3時間の道のり。ずいぶんと遠い道のりでしたが、考えてみればあの時間に多くの事を学んだのだと思います。私と変わらない勢いで自転車を走らせネクタイを振り乱してダッシュする大人や、急ぐ余り気軽に信号無視をしていく男性。バスで席を譲つていた中年女性や、私の忘れ物を持ってバスを降り、追いかけてくれたサラリーマン。定期券も財布も忘れて困り顔の私に「大丈夫？」と声をかけ、小銭まで貸してくれたお姉さん。清水駅では、観光客に道を尋ねられた事もありました。

あの頃は、その一つ一つがだたの出来事でしたが、大人になって頭に浮かぶ通学の風景には、たくさんの学びが詰まっていたのだと思います。大人と一緒に、大人に混じって毎日を過ごした事で、社会生活を肌身に感じられました。自分の家族が毎日ど



# 同窓会報告

## 翔洋同窓会・新校長を迎えて

平成26年4月22日、旧一高と旧工業高が統合して6代目の学校長を迎え、同窓会役員が市内の料亭にて歓迎会を催しました。今年度は同窓会の役員も、会長をはじめ大きく入れ替わる年でもあり、新会長をお願いしている有田様にも出席して頂きました。

村上新学 校長から、冒頭の挨拶で『学校運営にも、生徒募集においても、同窓会の大きな力が必要であるので、よろしく頼む』と力強いお言葉と、また役員



の皆さまへの「日頃の協力に感謝します」とのねぎらいの言葉がありました。宴も進むにつれ、北海道出身で第四高校・相模高校と長く勤務された新校長に、地元、清水の特産、海の幸を味わって頂き、和やかなひと時を過ごさせて頂きました。

## 総会で役員改選される

六月十五日に翔洋高校同窓会の総会が本校大会議室において行われました。

総会では二〇一三年度の活動報告・会計報告の後、二〇一四年度の活動方針・予算案、及び役員改選について審議され、参加

者全員の賛成を持って承認されました。会長は十三年続いた林芳久仁会長から有田知弘新会長(昭和五十四年三月第一高校卒業)へ引継がれました。今後の活動は有田新体制で行われますが、現役員も同窓会事業に参加することを快諾してくれました。その後会場を本校多目的ホールに移し、来賓の方にも参加をいただき懇親会を開きました。今回は第一高校吹奏楽部卒業の小川理恵さん(三十期)、水本みゆきさん(三十期)がピアノとクラリネットの演奏を下さり、いつもと違う雰囲気での懇親会となりましたが参加者は更なる親交を深めることができました。



### 【二〇一四年度役員】

- 会長 有田 知弘(一高二八二期)
- 副会長 青山 憲正(一高二三期)
- 稲葉 功一(一高二八二期)
- 杉山 嘉男(工高 一八二期)
- 常任幹事 出口 勝啓(一高三二期)
- 計 鴨尾 剛(工高二二期)
- 監 査 河本 章成(工高三六期)
- 大澤 寿之(一高二九期)
- 天野 伸一(工高 二二期)

## 連合同窓会総会報告

山田 芳平 (同窓会事務局)

第三高校が幹事校となった第39回東海大学高等学校連合同窓会総会が9月27日(土)・28日(日)の両日、長野県で開催されました。例年の総会には翔洋高校同窓会は数名の参加でしたが、今年は役員改選も行われたため、26日の有志によるゴルフコンペには新役員の有田会長、稲葉副会長、大澤監査の三名が、また総会には16名の新旧の役員が参加しました。当日は第三高校に11時30分に集合し、学校の食堂で昼食を取った後、吹奏楽部の歓迎の演奏を聴きました。その後、国宝の土偶が展示されている尖石縄文考古館の見学と北八ヶ岳山頂の散策に出かけました。北八ヶ岳からはお昼に噴火した御嶽山の白煙が見られましたが、その噴火が死者57名、不明者6名という大惨事になっているとは想像



できませんでした。 蓼科温泉のホテルでの総会の後、尖石縄文考古館館長の「八ヶ岳縄文文化」縄文時代のおもしろさ」という演題で講演があり、八ヶ岳の地に縄文文化が栄えた理由や国宝の縄文のビーナスや「仮面の女神」の発掘時のエピソードを聞き、縄文文化につ

いて知識を深めることができました。翌日は天竜・木曽方面に観光に出かけライン下りなどを楽しみました。懇親会や観光に参加し、各校同窓会員との交友を更に深めることができました。次回は第40回の記念総会のため、相模高校が幹事校となり行われます。

## 連合同窓会ゴルフコンペ

大澤 寿之

九月二十六日(金)東海大学高等学校連合同窓会のゴルフコンペが開催されました。会場は、標高千百mの高原ゴルフ場で、眼下に諏訪湖を四方に八ヶ岳、アルプスを一望できる絶景の「諏訪湖カントリー倶楽部」です。

冨え渡る空気の中、各校の精鋭が集まりました。翔洋高校からは有田会長、稲葉副会長、大澤の三名が参加し、総勢十八名のコンペとなりました。三名とも死力を尽くしスコアもまずまず(?)でした。プレー終了後、同窓会メンバーの方のお



好み焼き店「なんじゃもんじゃ」に会場を移し表彰式が行われました。 私たち三人は新役員になり初めて参加させて頂き、他校の役員の方々とも交流ができました。

# 第16回66・6 km踏破

9月29・30日の両日にわたり、伝統行事66・6 km踏破が実施されました。スクールバスにて御前崎灯台下まで行き、焼津大島にて仮眠、本年は大崩れの国道150号線が通行止めのため用宗までスクールバスで移動、再スタートし翔洋高校で感動のゴールです。

参加生徒91名、教職員11名、そして、PTA会長の山田様が参加されました。全教職員が安全管理や指導につき、多くの保護者の方々に手伝いを頂きました。大島体育館には、高橋前校長も激励に駆けつけて下さり、力強いお言葉を頂きました。また、同窓会の有田会長をはじめ、役員さんにもゴールで出迎えて頂き、スポーツドリンクのご支援を頂き、参加生徒は疲れ切った身体に染み渡るドリンクに感謝しておりました。おかげ様にて一人もリタイヤを出さずに全員が踏破することができました。

また、中等部生は用宗から20キロバイクとして参加し、なんと今年からは付属小学校のチビッコたちも、久能山東照宮下より参加し、全員がお兄さん、お姉さん、先生方と元気に翔洋高校まで完歩いたしました。

この行事は、自己への挑戦はもちろん、



相互に助け合い、お互いの絆をより深めるといふ目標があります。来年度は是非、同窓会の方々も、ふるってご参加下さいます。お待ちしております。

# 翔洋高校3期生同窓会報告

3期生同窓会発起人 伏見 優

平成26年1月3日(金)、ホテルアソシア静岡にて翔洋3期卒業生の同窓会を行いました。

半年前より準備を始め案内ハガキを送りましたが、残念ながら返信は半分も返ってきませんでした。開催日が年明けだった為か都合がつかず参加できない方も多く、予定していた



人数より少なくなっていました。約30名の同窓生と3名の恩師の先生のご参加を頂き、盛會に終えることができました。参加者の皆さん一人一人の近況報告や、ラグビー部のHAKAダンスなど、参加者の皆さんが会を盛り上げてくれました。高校を卒業してから初めて顔を合わす方もいたりして、会は最初から最後まで笑い声が途切れませんでした。

少人数だった為最初は不安もありましたが、終わった後に「楽しかった」「また、集まりたい」などの声を聞くと、幹事としてはとても安心しました。また5年後か10年後に開催したいと考えております。その際は、今回参加できなかった皆さんにもぜひご参加頂きたいと思っております。

# 変わる! 静岡翔洋!

## 2つの約束

1 全路線無料スクールバス運行!  
★登録料(会員カード発行代)年間1,000円  
入学納付金(6万円)減額!

全路線無料!



## 2 学校完全週6日制を実施!

### 高校

- ①サタデーセミナー  
【予定講座】「海の神秘!探究講座」(海洋学部と連携)  
「英語CMで世界に発信!」  
「医師・看護師の夢かなえるぞ講座」など
- ②受験に対応したハイレベル土曜講座
- ③スポーツ実践

### 中等部

- ・豊富な学習時間を確保  
【公立中学校に比べ3年間で574時間増】
- ・魅力ある土曜授業  
【総合学習・情報(コンピュータ)・各種検定試験・発展学習】

3種類の土曜講座

## 3つの宣言

### 1 大学進学のための学校

#### 高校

※どちらのコースも部活動との両立が可能です。

#### 英数進学コース

- ・東海大学の医学部、看護・医療系学科、航空宇宙学科航空操縦学専攻などの難関学部学科を目指します。
- ・国立大学、難関私立大学を目指します。

#### 文理進学コース

- ・文系理系にかたよらない充実した授業で学力を育成します。
- ・付属校推薦で東海大学への進学を目指します。

#### 中等部

- ・中等部から翔洋高校へ、翔洋高校から東海大学への推薦制度で進学が可能です。
- ・公立高校受験希望者に対しても責任をもって指導します。

### 2

### 全国大会・東海大会を目指す部活動

恵まれた施設・環境と情熱あふれる指導者のもと、多くの部活動が全国大会を目指します。

【全国大会出場実績部活動】

- 高校：男子サッカー・硬式野球・柔道・チアリーダー・ラグビー・陸上・空手道・広報・放送・美術
- 中等部：野球・男子サッカー・女子バスケット・柔道・剣道・陸上・チアリーダー・空手道

### 3

### 挨拶・礼儀・身だしなみ・美しい環境づくり

2014年度より制服を一新しました。中高生らしい身だしなみ、挨拶、礼儀を身に付け、地域からも愛される生徒を育てます。